

地域情報ゼミナールBII (その2)

2単位 4年(後期)

平井 松午・教授/社会創生学科

【授業目的】 この授業は、地域に展開する歴史地理的現象や農山村の空間構造やその変容過程について、地理学的手法を用いて研究しようとする学生を対象としている。「歴史地理学」や「農村地理学」に含まれるさまざまな研究領域の中から、受講者が自らテーマを設定し、卒業研究(卒業論文作成)という最終目標に向け、GIS(地理情報システム)を援用して独自の調査・分析をおこない、論理的な考察を深めることを目的とする。

【授業概要】 歴史地理学ゼミナール

【キーワード】 地理学, 歴史地理学, 歴史的景観, 村落, 古地図

【先行科目】 『地誌学』(0.5)

【関連科目】 『地域情報ゼミナールAII (その2)』(0.5), 『地域情報ゼミナールCII (その2)』(0.5), 『地域情報ゼミナールDII (その2)』(0.5)

【履修上の注意】 地域情報ゼミナールBIと併せて通年で履修すること。3年次向けに開講される地域情報ゼミナールBI(その1)とは、単位の重ね読みができる。

【到達目標】 歴史地理学や農村地理学の研究分野の中から研究テーマを主体的に選び、適切な方法による調査や分析をおこない、卒業論文にまとめることができる。

【授業計画】

1. 地理学では地域の実態を解明する手段としてフィールドワークが重視されている。4年次後期には、卒業論文作成に向け、考察を深めながら調査結果をとりまとめていく。論文全体をどのように構成するか、分析結果をいかに論理的に解釈するか、成果をどう説得力のある形で表現するかが問われる。それぞれの作業の進展に応じて2~3回程度の中間発表をおこない、その内容を教員および受講生全員で討議する。論文作成に必要な手法や具体的な執筆要領などについては、適切な時期にその都度指示する。
2. 卒業研究には、受講者の主体的な取り組みと粘り強い努力が必要である。また、参加者全員が真剣な討議をおこなうことで、切磋琢磨しながら内容を高めていくことが期待されている。
3. なお、発表時期など具体的なスケジュールは、地域情報ゼミナールA, 地域情報ゼミナールC, 地域情報ゼミナールDと密接な連携をとりながら、受講者と相談の上で決定する。

【成績評価】 授業への取り組みと討議への参加意欲、報告内容の完成度をもとに評価する。なお、成績評価については地域情報ゼミナール担当教員の合議のもとに判定する。

【再試験】 無

【教科書】

- ◇ 参考書 有蘭正一郎ほか編『歴史地理学調査ハンドブック』古今書院, ¥2, 800
- ◇ 参考書 浮田典良編『ジオパル 21-地理学便利帳』海青社, ¥2, 500

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218805>

【連絡先】

⇒ 平井 (2116, 088-656-7159, hirai@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 前期・後期 月曜日 16:30-17:30)